



古泉 花音ちゃん
上河内、古泉浩・久美子さんの長女=1歳



本木 里奈ちゃん
河原口、本木大・聡美さんの2女=1歳



末永 晴輝ちゃん
東柏ケ谷、末永公一・亜季さんの長男=1歳



鎌田 健司ちゃん
国分南、鎌田英明・あけみさんの2男=1歳



中島 月乃ちゃん
中野、中島敦・亜希子さんの長女=1歳



塩脇 圭悟ちゃん
下今泉、塩脇章正・ちあきさんの2男=1歳



武井 隆之助ちゃん
本郷、武井哲也・直美さんの長男=1歳



茂木 修也ちゃん
杉久保、茂木学・由美子さんの長男=1歳

まんまる赤ちゃん

▼市内4番目の「おあしす通り」が開通

3月4日、有馬中学校区のおあしす通りの開通式が有馬中学校で行われました(青少年指導員主催)。おあしす通りは海老名・柏ケ谷・海西中学校区を入れ4つになりました。



▶高齢者110人が清掃ボランティア
3月5日、海老名市生きがい事業団の会員である高齢者110人が、海老名駅周辺の清掃ボランティア活動を行いました。



このコーナーに掲載を希望する方は…
電話で広報広聴課(内271)へ。ただし、申し込み時点で1歳未満の赤ちゃんに限りませんので、お早めにごぞ。なお、申込数が多く掲載できない場合もあります。

▽場所 海老名中央公園 ▽撮影月 今年1月
下今泉在住・神谷康夫さん撮影



みなさんからの作品

海老名の風景①



▶楽しみながら英語を学ぶ
上星小学校で国際教室が行われ、6年生3クラスが、教育委員会の外国人英語講師のジョン・ジェニファー講師と自己紹介や質問、簡単な英単語の練習などで交流しました。

今月のプロフィール

「バレエは表現が命」

「舞台が好きです。踊っているときの高揚感、終わったときの達成感がたまらない」と話すのは高校2年生の大貫真幹さん(東柏ケ谷在住、17歳)。

大貫さんは、若手バレエダンサーの国際的登壇門といわれる「ローザンヌ国際バレエコンクール」で、30カ国160人の参加者の中から、「プロフェッショナル・スカラシップ賞」を受賞しました。「ローザンヌは一つの目標ではあつたけれど、まだスタート地点に立ったばかりなのでこれからですね」と周りの反響とは裏腹に、本人は比較的冷静に受けとめています。

バレエを始めたのは8歳の時。妹のバレエ発表会で見た少年の踊りに感銘を受けてから、「2歳上の人だったのですが、格好よくて自分もやってみようと思いました。ただ本格的にやると決めたのは中学を卒業してからです」。小学生からサッカーに熱中し、バレエがサッカーかと思いましたが、決断してバレエ一筋の生活を送っているわけではなく、

プロフェッショナル・スカラシップ
受賞で今後の活躍が期待される
おおぬきまさよし
大貫真幹さん



く、友達との学校生活を存分に楽しみ、毎日の生活も至って普通。食事制限などもなく、スタミナを付けるため、かえって食べるようにしなければいけないとか。練習も週4日と余裕を持って効率よくこなしています。自分の時間は映画鑑賞や読書にふけることが多いそうで、「バレエというのは表現が命。様々な作品や事柄に触れることで感受性を豊かにし、表現力を付けるんです。バレエだけで視野を狭くしては感動はありません」と。

スカラシップの副賞として希望するバレエ団への入団が認められ、ニューヨークの「アメリカン・バレエシアター」への入団が決まっています。「プロの世界は甘くありません。1年後に『君はもういらぬ』と言われるように全力でがんばります。本物にふれて、いろいろなものを吸収したい」。一緒に舞台上に立った中学2年のときからのあこがれであり、バレエだけでなく人間的にも尊敬しているというラスター・トーマス氏がいるアメリカで、彼のようなダンサーを目指したいと熱く語る大貫さんの目は輝いていました。

この号が出るころにはもう桜の花が咲いていると思えますが、1面の取材で北部公園を訪れた日は運悪く北風が強く、肌寒い陽気で

編集後記
した。そんな中で元気に遊ぶ子どもたちを見て、とても頼もしいと感じてしまうのはただ単に私が歳をとったせい? (康)